

14章 評価の工夫

評価の観点

- 教育課程審議会（平成12年12月 答申）
 - 「児童生徒の学習と教育課程の実施状況の評価のあり方について」
 - http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t20001204001/t20001204001.html
 - 目標に準拠した評価を一層重視する
- 4つの観点による評価

4の観点（観点別評価）

- 関心・意欲・態度
 - おもしろそうなものがあるぞ
- 思考・判断
 - これはいったい何だろう
- 技能・表現
 - 自分で試してみよう
- 知識・理解
 - なるほど、これはこうゆうことだったんだ

学力の重要な三つの要素

- 「**生きる力**」の理念は学習指導要領に継続
 - 基礎的・基本的な**知識・技能**の習得
- ↓
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な**思考力・判断力・表現力**など
- ↓
- **学習意欲(モチベーション)の喚起**

評価規準と評価基準

- 評価規準の通達(2001年 文部科学省)
- 観点別評価が全国的に実施
- 評価規準
 - 目標や身につけるべき内容
 - 質的な尺度
- 評価基準
 - 何がどの程度達成できたか
 - 量的な尺度

年間計画と単元ごとの時間配分

- やってはいけないこと
 - アプリケーションの**使い方**に終始
 - **得意な単元**のみを指導
- 考え方
 - **平均進度**を考える
 - 実習の内容を考慮し**配当時間数**を調整する
 - **余裕**をみしておく
 - 学校行事、休講等への対応
 - 新型インフルエンザ対策は今後も深刻

単元の評価規準と具体の評価規準

- 評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校 共通教科「情報」)
 - http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/kou/13_kou_zyouhou.pdf
- どの程度の内容を指導する生徒の規準とするのかを観点ごとに決める
- 内容は自治体によって差がある

指導と評価の計画

- 指導と評価の計画は設計図のような役割
- 評価項目の調整
 - 評価規準の変更（多すぎ、少なすぎ、偏り等）
 - 時間数の変更
- 評価の例
 - A 「十分満足できると判断される」
 - C 「努力を要すると判断される」
- 当日の指導計画の作成
- 観点別評価の総括（点数化）

観点別の評価の実際

- 指導と評価の一体化
 - 指導に生かす評価を充実させる
- 評価計画の適正化
 - 1時間につき2～3個
- 授業改善
 - 評価の根拠を公開して説明できる必要性
 - 厳密に決めすぎると融通が利かない
- 常に見直す
 - 生徒による授業評価

生徒の自己評価、相互評価

- 評価項目の例
 - 伝えるべき十分な発表内容があるか
 - 使っている資料は正確で適切か
 - 話し方、声の大きさ、スピードは良いか
 - 身振り、手振り、指示棒の使い方は有効か等
- その他
 - 発表の様子ビデオを見せ、自己分析させる
 - 聴衆のコメントを見せる

補足 情報環境学部の教育の特色

- 教育GPに採択（平成20年度）
 - 質の高い大学教育推進プログラム
 - http://www.jsps.go.jp/j-goodpractice/sentei_daigaku.html#02
 - 「学習意欲向上のためのフィードバック型教育」
 - http://www.jsps.go.jp/j-goodpractice/data/sentei_daigaku/houhou/houhou47.pdf
- 読売新聞社から取材
 - 2009年9月30日に実施（中村教授、土肥対応）
 - 10月17日に別刷りが朝刊と同時発行

補足 情報環境学部の教育の特色

- 特色GPに採択（平成17年度）
 - 「特色ある大学教育支援プログラム」
 - http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/07/05071904/001.htm
 - 「学生の自主・自立を支援する個別重視型教育」
 - http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/07/05071904/004.htm